

広報ちくしの「人権問題特集号」 12月アンケート用紙

(当てはまるものに○をつけてください。)

① 「人権問題特集号」は…

- よかった
- まあよかったです
- あまりよくなかったです
- よくなかったです

② 心に残った内容は…

- 「ビジネスと人権」
- 「災害と人権」
- 「障がい者の自立と社会参加の充実」
- 「カルタにまなび カルタでカタル」
- 「同調圧力と向き合うには」
- 「いつまでも安心して暮らせる社会へ」

③ 感想をお聞かせください。

人権問題特集号 アンケートのお願い

筑紫野市人権都市宣言が採択されて、今年は30年目にあたります。その中では、「すべての市民の人権が等しく保障される地域社会の実現に向けて、一人ひとりが不断の努力を行うこと」が確認されています。今回もさまざまな人権問題について知っていただき、不断の努力につなげていただきたいという思いで編集いたしました。つきましては、是非読んでいただき、よろしかったら感想等を届けていただきますようお願いいたします。今後の編集に活かしていきたいと思いますので、趣旨をご理解のうえご協力を重ねてお願いいたします。

○アンケート回答の方法

① FAX:上のアンケート用紙に記入のうえ以下の番号にFAXをしてください。

→筑紫野市教育政策課人権・同和教育担当：(092)923-9644

② 郵送:上のアンケート用紙に記入のうえ以下の住所にご送付ください。(12月26日まで)

→筑紫野市教育政策課人権・同和教育担当：
〒818-8686 筑紫野市石崎一丁目1番1号

③ メール:k-kyoumu@city.chikushino.fukuoka.jp

④ 筑紫野市ホームページ：

以下の手順で「広報ちくしの 人権問題特集号」に入っています感想をお寄せください。
「暮らし・手続き」→「人権・男女平等 人権」→啓発冊子「広報ちくしの 人権問題特集号」
※携帯電話・スマートフォン等で読み取るとアンケートページにつながります。



編集後記

今年は戦後80年の年です。戦争体験者も人口の1割を下回り、過去の大戦の状況（被害・加害）を伝えていくことも大きな課題と言われています。その中で、現在戦闘状態にある国の悲惨な子どもの映像を見て、高校生平和大使に応募した子がいます。高校生たちは「微力であるが、無力でない」という言葉を胸に活動を続けています。

社会状況を見ていくと、一つひとつの人権をますます大切にすべき時代を迎えているような気がします。そのためには、人権問題をしっかり学び、自他の人権について考え、自分にできる行動に移すことが求められています。

2025年12月1日発行

広報ちくしの「人権問題特集号」

■編集発行

筑紫野市

筑紫野市教育委員会

筑紫野市同和教育研究会

筑紫野市同和問題啓発資料編集員会

■問い合わせ先

筑紫野市教育委員会教育政策課

TEL : (092)923-1111

■印刷 久野印刷株式会社